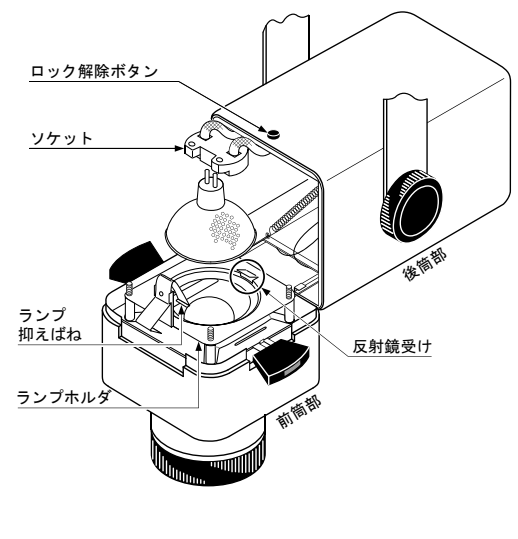


■電球の交換

- 交換電球
GX5.3ダイクロイックミラーハロゲンランプ
JCR100V 200W FPC-200 (200W使用の場合)
JCR100V 100WA-HC FPC-100 (100W使用の場合)
- 交換上の注意
電球交換は必ず電源を切ってから行って下さい。
点灯中に切れた場合は、電球が十分冷えてから電源を切って行って下さい。
電球交換の際、電球は反射鏡の外側を持ち、反射鏡の内側やバルブに触れない様にして下さい。
- 交換の手順
①電源を切る。
②器具灯体にあるロック解除ボタンを押しながら灯体を開ける。
(灯体が二つに割れる)
③ランプ抑えばねをつまんで抑えを解除し、ランプホルダから電球を外す。
④ソケットのセラミック(陶器)の部分を持って引張り、電球から外す。(決してコードを持って引張らない様にして下さい)
⑤新しい電球をソケットに差込みます。
⑥電球の反射鏡をランプホルダの反射鏡受けに引掛けてから電球をランプホルダに押し付けます。
(反射鏡がランプ抑えばねで固定される)
⑦灯体を閉じる。

■各部の名称



■使用上のご注意

- 注意
ハロゲン電球は点灯中のショックに弱いので器具に振動、衝撃等を与えないで下さい。
器具の後面は空気の取入口、前面の投影レンズの周囲は空気の吹出口になっていますので塞がない様にして下さい。
器具は室内用です。水にぬれたり、結露したりする所では使用できません。
周囲温度35℃以下、電源電圧110V以下でご使用下さい。これ以上の条件でお使いになると、ランプやファンの寿命が短くなる恐れがあります。
万一、破損したり、異常が生じた場合は速やかに電源を切り、お買い求めの販売店にご相談下さい。

- アフターサービス
周囲温度35℃以下、電源電圧110V以下でご使用の場合、器具の保証期間はご購入から1年間です。
器具の改造はしない様にお願い致します。
改造された場合、故障の責任は負えません。

- ファンと温度ヒューズについて
器具冷却のためファンを内蔵しています。万一ファンが故障しても事故の無い様に温度ヒューズが付いています。ファンは信頼性の高いものを使用していますが、万一故障しますと異常音を発したり、回転が止まり温度ヒューズが熔断してランプが点灯しくくなります。この様な場合には、速やかに電源を切り、お買い求めの販売店にご相談下さい。
【注意】電源を投入した際、ファンが回転していてランプがつかない場合、ランプが切れていますので新しいランプと交換して下さい。ファンが回らなければ器具の故障ですので修理にお出し下さい。

■保守と清掃

- ①ランプ交換の時、必ず器具内部のほこりのたまり具合(特に後部の空気の取入口)を点検し、多量にたまっている場合は掃除機等で吸い取って下さい。
ほこりが付着したまま使用を続けると冷却効果が落ち、温度ヒューズが働き電源回路が切れる場合があります。
(この場合、修理に出して下さい)
- ②交換電球は必ず指定のものをお使い下さい。
これ以外のものをご使用になりますと、ファンの寿命が短くなり故障の原因となる可能性があります。
- ③レンズが汚れた場合は、アルコールを浸した柔らかい布で拭いて下さい。レンズが汚れたままですと明るさが落ち、器具の能力が十分に発揮できません。
- ④器具外面が汚れた場合は、中性洗剤を浸した柔らかい布で拭いて下さい。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは、器具の樹脂部分を冒しますので絶対に使用しないで下さい。
- ⑤丸カッターは直径7mmまで、フレーミング羽根により光を絞る場合は一辺7mmの正方形(この場合2mの投影距離で、ナローの器具なら一辺230mmの正方形、ワイドの器具なら一辺470mmの正方形に光が投影されます)までお使い下さい。これ以下に小さくしたい場合は販売店にご相談下さい。

FPC/RFC/DPCU

これらの機種はランプの熱を冷やすため冷却ファンを内蔵していますので調光はできません。
調光しますと器具トラブルの元となります。

取扱い説明書

Beamax®

フレーミング・スポットライト FPC/RFC/DPCU

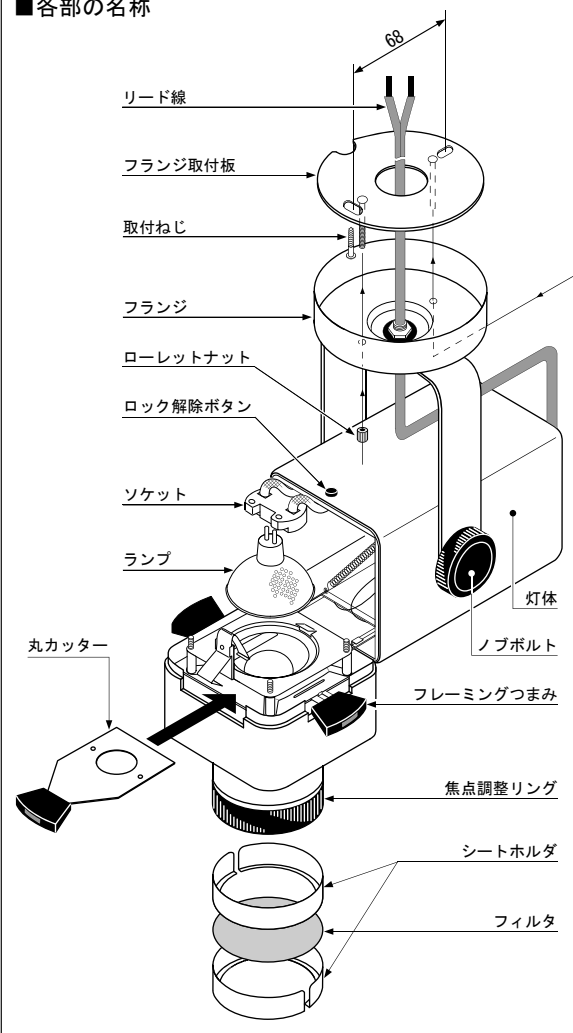
このたびは『ビーマックス製品』をお求めいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱い説明書をよくお読みいただいて器具を正しくご理解の上、存分にご活用下さい。

- この説明書は工事終了後、お客様にお渡し下さい。
- 器具を取付ける時は、必ず電気工事に依頼して下さい。

SPOT LIGHT

型番 FPC-100N ナロー FPC-100W ワイド
FPC-200N ナロー FPC-200W ワイド

■各部の名称



■取付方法

フランジタイプ

- ※電源が切れていることを確認して下さい。
 - ①フランジ取付板を付属の取付ねじで補強材のある位置に取り付けて下さい。
 - ②器具のリード線を電源線に接続します。
 - ③フランジの穴にフランジ取付板のねじを通し、ローレットナットでフランジを固定します。
- ※器具はフランジの軸に対してほぼ1回転(320°)しますが、回り止めが当たって器具を目的の方向に向けられない場合は一旦ローレットナットを外してフランジ取付板を半回転させて取付け直して下さい。
この時、器具のロック解除ボタンが上に来る様にして下さい。

ダクトプラグタイプ

- 取付ける時
①A・Bの凹凸を合わせてプラグをダクトに差込んで下さい。
②プラグを右に90°回して下さい。
ストoppaがダクトに入り取付けが完了します。
- 取外す時
①ストoppaを下に押し下げて左に90°回して下さい。

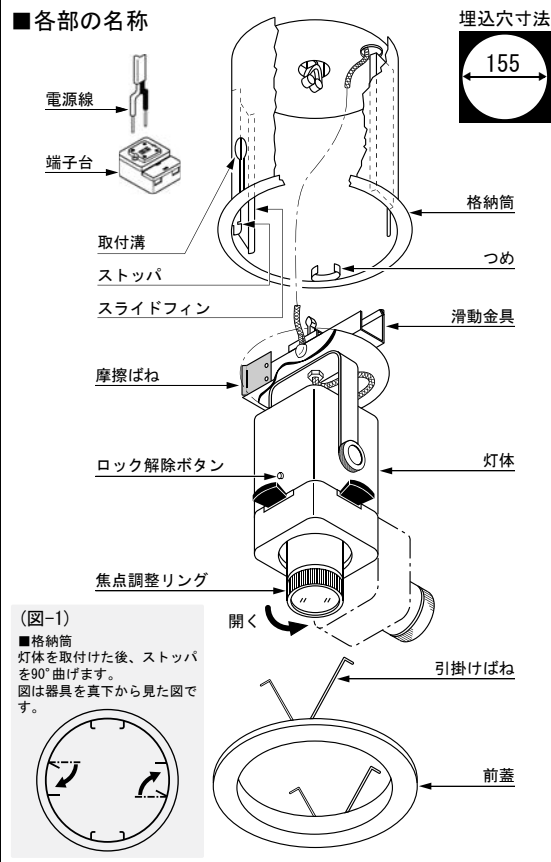
株式会社 Beamax

319-0205 茨城県笠間市押辺 2755-3 TEL.0299-45-4111 / FAX.0299-45-6033

RETRACTABLE DOWN LIGHT

型番 RFC-100N ナロー RFC-100W ワイド
RFC-200N ナロー RFC-200W ワイド

■各部の名称



■取付方法

※埋込穴寸法に従い、天井に丸穴をあけて下さい。

- ①前蓋を格納筒から分離し、2つのV形の引掛けばねを指でつまみながら格納筒のつまめから外します。
- ②灯体を格納筒のスライドフィンに沿って引出します。
- ③端子台に電源線を接続します。
- ④格納筒を天井穴に入れ、付属の取付金具でしっかりと固定します。
- ⑤格納筒の両側のスライドフィンを滑動金具と摩擦ばねで挟む様にして、灯体を格納位置まで押込みます。
- ⑥スライドフィンの先端のストッパを両側とも(図-1)の様に90°曲げます。

灯体を格納位置で使用する場合

- ⑦灯体を一旦引出し、フレーミングするか、フレーミング羽根を一杯に開けてから灯体を格納位置まで押込みます。

灯体を引出し位置で使用する場合

- ⑧滑動金具がストッパに当たるまで灯体を引出します。
- ⑨前蓋を取付けます。

■器具の扱い方

引出し位置から格納位置の場合

フレーミング羽根を閉じ器具を真下向きにし前蓋を外します。その後は取付方法⑦以後の操作をして下さい。

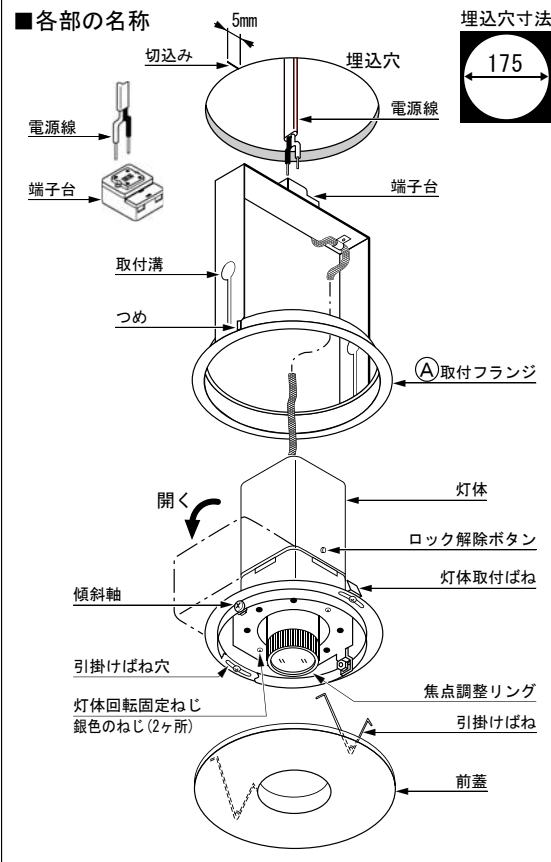
格納位置から引出し位置の場合

前蓋を外し、灯体をストッパに当たるまで引出します。次にフレーミング羽根を閉じ、前蓋を取付けて下さい。

UNIVERSAL DOWN LIGHT

型番 DPCU-100N ナロー DPCU-100W ワイド
DPCU-200N ナロー DPCU-200W ワイド

■各部の名称



■取付方法

※埋込穴寸法に従い、天井に丸穴をあけて下さい。

更に、灯体を傾ける方向に対して直角の位置に長さ5mmの切れこみを入れます。
(取付フランジのつまめが引掛かり回り止めとなります)

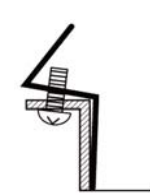
- ①前蓋を取付フランジから分離し、2つのV形の引掛けばねをつまんで取外します。
- ②灯体取付ばねのねじをゆるめ、灯体を引張り、取付フランジから外します。
- ③端子台に電源線を接続します。
- ④取付フランジを、つまめの切込みに合わせて天井の取付穴に入れ、付属の取付金具でしっかりと固定します。
- ⑤灯体を灯体取付ばねが取付フランジに引掛かる様に押込みます。
- ⑥傾斜軸の位置及び灯体の傾きを光が目的物に当たる様に調整し、灯体取付ばねのねじをしっかりと締めます。
- ⑦前蓋を取付けます。引掛けばねを指でつまみ引掛けばね穴に通して押込みます。

投影したゴボの向きの調整

を参照下さい。

灯体取付ばねの取外し・取付け方法

■灯体取付ばね
この様なばねが2ヶ所付いています。



取外す時

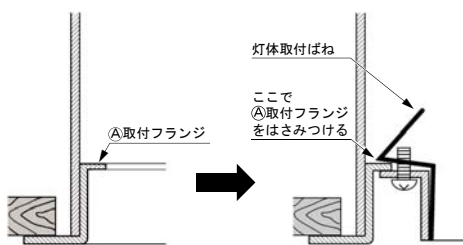
灯体取付ばねのねじをゆるめま
すと下にカチッと抜けます。

取付ける時

ねじがゆるんだ状態で⊕ドライ
バーの先を押付け上に持ち上げ
Ⓐ取付フランジにカチッとはめ
込みます。
はめ込みを確認後、ねじをドラ
イバーで締付けて下さい。
下、取付け方法ポイント①②を
参照して下さい。

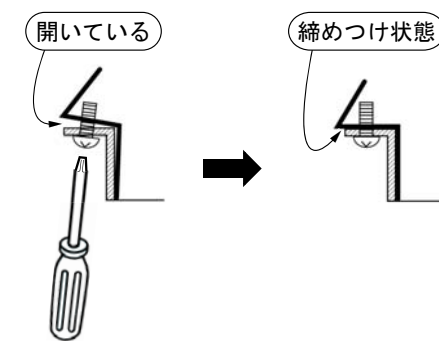
本体取外し・取付け方法のポイント①

A取付フランジの部分を灯体取付ばねでのり越えます。
(M4ねじをゆるめておきます)
のり越えた後、取付ばねのM4ねじを締付け固定します。



本体取外し・取付け方法のポイント②

⊕ドライバーで押し上げ取付フランジをのり越えま
すと作業は楽です。



投影したゴボの向きの調整 (右図参照)

器具を取付け床に投影されたロゴマークの向きの調整、
これは点灯状態でないと確認できません。それで少し
回転させて調整する場合、レンズの回りのねじ8本の
内2本のみ銀色のねじがあります。
この2本のねじをゆるめレンズを持って回転させ、
床に投影されたマークの向きを調整して下さい。
調整後は、ねじを締めて下さい。
投影されたマークが大きく方向ズレしていた場合、
取付フランジから取付け直す必要があります。

■使用方法

■フレーミング

灯体の上下左右に付いているフレーミングつまみを動かして
行います。
照射面の形を四角形にしたい場合に使用して下さい。
つまみを外側一杯に引くと円形の照射面になります。
なお、この機構はDPCUの機種には付いておりません。

■焦点調整

焦点調整リングを回しながら投影レンズを出し入れするこ
とによって行います。器具前方から見て右に回すと投影レ
ンズは引込み、遠い所にピントが合い、左に回すと投影レ
ンズは前に出て、近い所にピントが合います。

■丸カッターの使い方

フレーミングつまみを外側一杯に引くと円形の照射面にな
ります。照射面の直径はワイドでは投影距離とほぼ同じ、
ナローでは投影距離の約半分です。
照射面の大きさを小さくしたい場合は付属のカッターを
光学部に挿入します。穴径の大きい方を使用した場合は
カッターの無い時の2/3小さい方を使用した場合は約半分
の径の照射面が得られます。

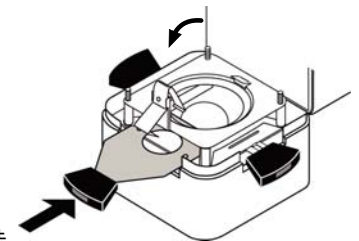
■丸カッターの挿入方法

①器具灯体にあるロック

解除ボタンを押しながら
灯体を開ける。
(灯体が二つに割れる)

②丸カッターを図の様に 光学部に挿入する。

③灯体を閉じる。



■シートホルダの取付方法

シートホルダは二重のリング
になっていますのでその間に
直径60mmの円に切ったカラーフィルタを挟み、
それを焦点調整リングに前からかぶせて使用します。

